

相談室だより

R6.1.24
No. 7
波崎柳川高校

～県立筑波高校の百人一首大会を見学しました～

1月12日(金)、13名(1年生10名・2年生3名)の生徒が見学に参加しました。

○筑波高校の百人一首開会について大塚教頭先生がご説明くださいました。

- ・今回52回目の開催で、昭和47年から継続し、伝統を守っている。
- ・小倉百人一首に筑波の地がうたわれていることや筑波の歴史・文化を大切にしている。
- ・冬休み中、暗記するための宿題が出る。
- ・百人一首大会は、クラス選抜メンバーが参加する「競技かるた大会」と、一般の部の「かるた取り大会」「クイズ大会」を行っている。
- ・実行委員と生徒会が企画運営に携わっている。
- ・年度によって筑波大学かるた部の学生さんが来校し競技かるたを披露してくれる。



筑波嶺の
みねより落つる
みなのか
恋ぞ積もりて
淵となりぬる



波崎柳川高校でも百人一首大会をや
ってみたいと思った。

競技かるたは真剣そのもので、かっこいいと思っ
た。かるた大会は、みんな仲良く楽しそうだった。
いい雰囲気の学校だった。

1年生のなかに、百首覚えている
人がいます。是非、競技かるた大
会に出て頑張ってもらいたいです。

筑波高校の教頭先生に「波崎柳川高校のある街・地域や学校の良い
ところを見つけて好きになり、他の人に胸を張って、街・地域や学
校を紹介してください。」という言葉が刺さった。